

JA北びわこ営農情報の



LINE
公式アカウント

はじめました!

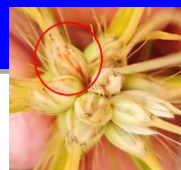


◇LINEアプリで左のQRコードを読み取る
または、
◇[@977svkrw]
で友だち検索

JA提出書類

名称	期日
令和8年産 米穀の出荷契約書(別表)	4月10日(金)
令和8年産 米穀の出荷契約書(委託販売)	
令和8年産 水田活用米穀の出荷契約面積、数量等一覧	
令和8年産 水田活用米穀の出荷契約書(委託販売)	

大麦の今後の管理について



①赤かび病防除

大麦は赤かび病に弱いため、**必ず2回防除を実施して下さい!**

【赤かび病の防除時期と薬剤】あくまで目安なので圃場を確認し、実施してください!

	防除時期	使用薬剤名	使用量	使用時期(収穫前)
粉剤防除	1回目(開花始め)	トップジンM粉剤DL	4kg/10a	14日前まで
	2回目(開花始めの7日後)	ワークアップ粉剤DL	3kg/10a	7日前まで
液剤防除	1回目(開花始め)	トップジンM水和剤	1000倍~1500倍で 60~150ℓ/10a	30日前まで
	2回目(開花始めの7日後)	ワークアップフロアブル	2000倍で 60~150ℓ/10a	7日前まで
ヘリ防除	1回目(開花始め)	トップジンMゾル (ドローン散布登録有)	8倍で 0.8ℓ/10a	21日前まで
	2回目(開花始めの7日後)	ワークアップフロアブル (ドローン散布登録有)	10~16倍で 0.8ℓ/10a	7日前まで

※液剤防除の場合は、薬剤の使用時期(収穫前日数)に注意してください。

②実肥の実施 ※早すぎる実肥は遅れ穂の発生を助長しますので、下の目安を参考に実肥を施用しましょう
より良い品質の大麦を作っていただくために実肥を施用ください!

施用時期

出穂10日後(4月中~下旬頃~)

施用量

分施肥体系の場合:窒素成分で4kg/10a

大麦一発肥料MFSの場合:窒素成分で2kg/10a

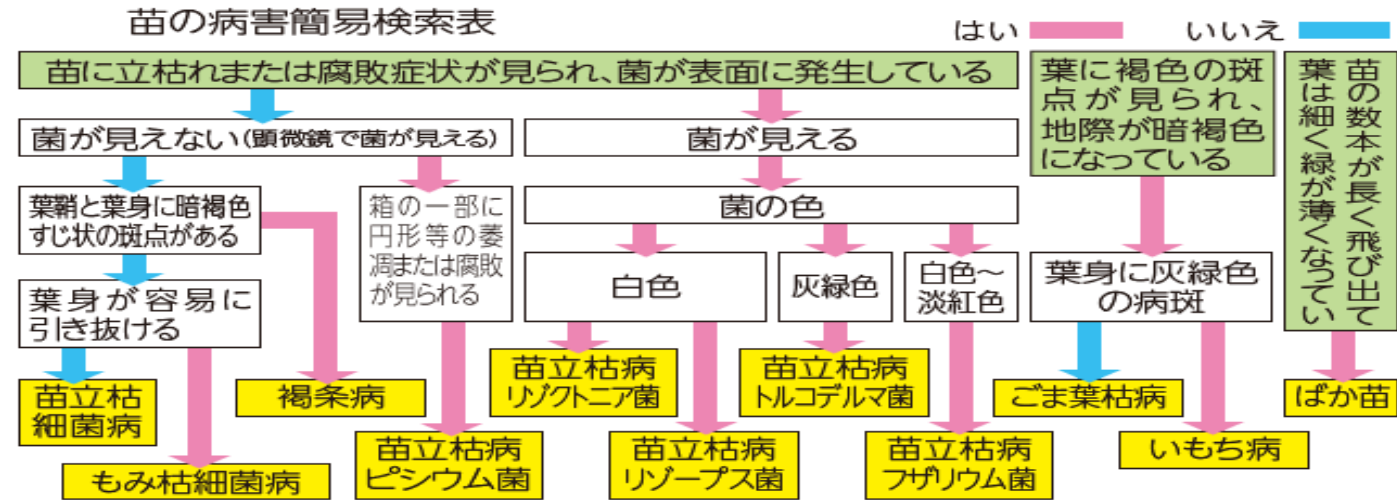


この花粉袋が見え始めた時が、
1回目の赤かび防除適期です!



育苗中に発生する病害

○主に**高温・多湿で発生しやすい**ため、**温度管理に注意!**



○ピシウムによる苗立枯病は、他の菌とは異なり、地際部にカビが発生しているのが見えません。急激な温度の変化で発生しやすく、発病初期は坪状にしおれ、育苗後半には赤茶けて枯れます。

○苗立枯細菌病は、葉身基部の白～黄白化が最大の特徴で、育苗箱内で伝染するため、坪状に発生します。根の生育が著しく抑制され、生育不良・マット形成不良となり、最終的には針状に立ち枯れします。

病害が発生しないよう、播種前までに種子消毒剤を使用してしっかり予防を!



病気種類	主な対策
ピシウム	播種時: タチガレーース粉剤 予防
フザリウム	発芽後: タチガレーース液・タチガレン 治療
リゾプス	播種時: ダコニール粉剤 治療 緑化期: ダコニール1000
トリコデルマ	緑化期: ダコレート水和剤
リゾクトニア	発病初期: バリダシン液
もみ枯細菌病	発病を確認したら、感染防止のため
苗立枯細菌病	ハウス・トンネルから持ち出し処分する。
いもち病	発病後: カスミン粉剤・フジワン粒剤など

これらの薬剤は、**近江米プレミアム・スタンダード米には使用できません**のでご注意ください。また、**薬剤使用前に、一度担当TACまたは営農指導員までお問い合わせ下さい。**

生産基準米箱施用剤について

◆水稲育苗箱施用剤 ~品種によって薬剤を変更しましょう~

近江米プレミアム・スタンダード米推奨
(近江米プレミアム・スタンダード米は成分指定)
【ブーン粒剤】

いもち病や主要初期害虫から
稲を守ります!

成分名
ジクロベンチアゾクス

1kg/10aまたは
1箱あたり150g~100g

きぬむすめ・他中晩生品種推奨
【稲名人箱粒剤】

いもち病や初期害虫に加え、ウンカによる
縞葉枯病の感染拡大を抑えます!

成分名
オキサズルフィル
イソチアニル

高密度播種苗対応
1kg/10aまたは
1箱あたり150g~100g

水田管理情報

除草剤の上手な使い方

①代かき、あぜ塗りは丁寧に

○田面の凹凸がなくなり均平になるよう耕起、代かきは丁寧にやらないようにしましょう。
○漏水しやすい場合は、あぜ波板やシートなどで補強しましょう。

②水管理をしっかりと

○水口、水尻をしっかり止めて、**5cm程度**の水深を確保しましょう。
○除草剤散布後の**7日間**は落水やかけ流しをせず、入水もできるだけ控えましょう。

③適期に散布

○雑草葉齢に合わせて処理適期に散布しましょう。
○フロアブル剤、ジャンボ剤は表層はく離やアオミドロが大量発生する前に散布しましょう。

④雑草が多い圃場では体系処理で

○毎年雑草が問題となる圃場や、代かきから田植えまでの期間が長くなる場合は、
初期剤 + 一発処理剤(中・後期剤) や 一発処理剤 + 後期剤の体系処理を行いましょう。

7日間の止水管理を行うための3つのポイント

- 浅めの水深で代かきを行い、継ぎ足しの入水を行いません。
- 土壌表面が現れたら、オーバーフローさせないように静かに入水します。その際に、しっかり水を入れます。
- 処理時の水深をやや深めにすると最初の入水までの期間を長くすることができます。

注意してください!

被覆肥料殻の流出防止

多くの被覆(緩効性)肥料は**プラスチック殻**で肥料成分を覆っています。水田では、肥料成分が溶出した後の被覆肥料殻が水面に浮いて、**河川や琵琶湖に流れ出る可能性**があります。

浅水代かきを行うほか、代かきや田植え前の**強制落水は絶対に行わず**、さらに風でほ場の端に浮いている殻を見つけたら**網ですくう**など、被覆肥料殻がほ場から流れ出ないように注意しましょう。



被覆肥料

農業用プラスチックの注意事項

肥料袋、あぜ波板・シートは、**風で飛ばないように**しましょう。

※農業から排出されるプラスチックは、産業廃棄物として『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に基づき、適切に処分してください。不法投棄や野焼きは罰則の対象となります。地域の回収を確認しましょう。



河川等へ流出した被覆殻

農家組合員の皆様、農業濁水の河川への流出防止ご協力をお願いします!

めざせ! 農業濁水ゼロ! へ

4月に入ると代かき～田植が順次始まります。この時期に発生する濁り水が琵琶湖の水質と生態系にダメージを与えます。JA北びわこでは、滋賀県や長浜市等の関係機関とともに、濁水の流出防止に力を入れています。JA北びわこの生産基準米では、GAP(適正農業規範)や農業環境規範の中で、**農業濁水の河川への流出防止、被覆肥料殻の流出防止や農業用使用済みプラスチック類の適正処理**に取り組むことを必須の要件としています。

STOP! 農業濁水

<田植えまでの4ステップ>

- ①均平作業
- ②漏水防止
- ③適量入水で浅水代かき
- ④落水なしの移植



スマート農業について

ザルビオについて

「ザルビオ」とは

作物や品種、気象情報、人工衛星からの画像等、様々な情報をAIによって解析することで、最適な栽培管理を提案する新しい栽培管理システムです。

Z-GISを利用して、ザルビオから提供する生育予測や病害予測、雑草発生の情報を受け取り、**営農の全体状況を精密かつ効率よく把握することができます。**

衛星画像が農家の目（確認）をサポート（初級者）

AIが農家の頭（判断）をサポート（中級者）

スマート農機との連携で農家の手（作業）をサポート（上級者）

初級者向け

- 地力マップ（地カマラを確認し、元肥の設計に利用）
- 生育マップ（生育状況を確認し、追肥の設計に利用）
- 散布天気（農薬散布の最適な日時の判断に利用）

中級者向け

- 生育ステージ予測
- 病害リスク予測
- 施肥・水管理の推奨
- 大豆雑草管理プログラム

上級者向け

- 可変施肥のためのマップ生成
- 可変散布のためのマップ生成
- スマート農機との連携

ザルビオで出来ること

①地力マップ・生育マップ

地力が低い。生育の悪い場所が一目で分かります。

②天気予想・散布天気予想

作業に適した天候の日時が把握できます。

③生育ステージ予測

生育に合わせて的確な作業を計画できます。

④病害アラート

病害発生リスクを事前に察知できます。

⑤可変施肥&可変散布マップ

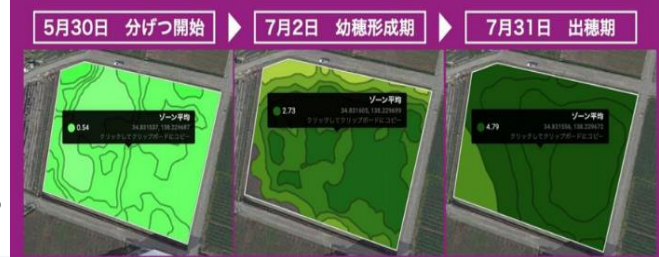
ドローン撮影なしで可変マップを作れます。

地力マップ

※ザルビオホームページより引用



生育マップ



大豆資材紹介

今年度より大豆資材申込書に新資材「パワーガイザー液剤」「アビオスリーF」が新しく登場していますので紹介します。

※メーカーホームページより引用

◆ パワーガイザー液剤

特長

- ・雑草が出てから散布できるため、散布時期を逃すことなく、余裕を持って効率的そして効果的に散布作業が行えます。
- ・一年生広葉雑草の発生始期から2葉期までの処理で高い除草効果を示します。（効果発現から枯死まで、やや日数を要します）
- ・豆類作物が本剤を容易に代謝分解し解毒するため、一時的に黄化等が発生することがありますが、その後の生育には影響が認められません。

※ポルトフロアブルとの混用は出来ませんのでご注意ください！

適用病害虫・雑草と使用方法

大豆出芽直前～3葉期まで全面処理できる茎葉処理剤！						
作物名	適用雑草名	使用時期	薬量	赤霧水量	本剤の使用回数	使用方法
たいず	一年生雑草	出芽直前～3葉期まで (雑草発生始期～2葉期) 生育期(雑草発生始期～2葉期) 即し、収穫30日前まで	200～ 300mℓ /10a	100ℓ /10a	1回	雑草茎葉散布又は 全面土壌散布 畦間雑草茎葉散布

イマザモックスアンモニウム塩を含む農薬の総使用回数：2回以内(畦間処理は1回以内)



殺草スペクトラム

雑草名	パワーガイザー液剤	大豆バサグラン液剤	
	全面散布(茎葉+土壌) 畦間処理	全面 茎葉散布	畦間処理
シロザ	○	△	○～○
コハコベ	○	○	○
タデ類	○	○	○
タニシバ	○	△	○～○
ノボロギク	○	○	○
イヌビユ	○	△	○～○
アオイトウ	○	△	○～○
ナスナ	○	○	○
スカシタゴボウ	○	○	○
ツクサ	○～△	△	○～△
スベリユ	△	△	○
イヌホオズキ	△	○～△	○～○
カヤツリグサ	○～△	○	○
イヌビエ	○	×	×
エノコログサ	○	×	×
メヒシバ	○	×	×
オヒシバ	○	×	×

◎：極大 ○：大 △：中 ×：なし

◆ アビオスリーF

特長



1. 穀物などの植物原料を発酵させ、各種微量元素をバランスよく配合した農業用バイオスティミュラントです。
2. 土壤環境の改善による作物の根張によって、効率的な養分の吸収・利用をサポートします。
3. 作物の健全な成長と、各種の環境ストレスに強いからだ作りを助けます。
4. 茎葉散布に加え、種子処理やインファロー、ドローン散布といった省力処理にもお使いいただけます。
5. 従来の体系処理を変えずに様々な農薬と組み合わせて使用可能です。
6. 肥料および農薬には該当しない資材です。

使い方

- ✓ 本製品の標準使用量は100mL/10aです。原液～2,000倍希釈まで、幅広い濃度で使用可能です。
- ✓ 作物への安全性が高く、農薬との混用処理が可能です。
- ✓ 1作期あたり、生育初期と中期の2回散布がおすすめです。

だいずの場合

処理	タイミング	処理方法	おすすめの使用量
種子処理	播種前	種子塗布後、乾燥	乾燥種子 1kgあたり5mL
1回目処理	防除1回目・除草剤散布のタイミング	茎葉散布	100mL/10a (1,000倍、散布水量100L/10a)
2回目処理 ^{※2}	開花始期		

※1 フルゼー剤と多重処理する場合:アビオスリーF→乾燥→フルゼー剤の順で処理してください。
※2 種子処理を行った場合は、2回目処理(開花始期)は必要ありません。

大豆の種子処理時にアビオスリーFを可用する方法(乾燥種子30kgの場合)

STEP 1 アビオスリーF150mLをミキサー内の種子にかけ回す。

STEP 2 種子処理剤フルゼーMAXXを1本分(240mL)種子にかけ回す。

STEP 3 種子処理完了。播種いただけます。

2分回転 → 2分回転*

※2分を超えて回転させると薬剤が分離する場合がありますのでご注意ください。

今年度より資材申込書にラクサー粒剤の大型規格も登場しました！

お知らせ：ラクサー粒剤 大型規格 12kg 新登場

ラクサー

乳剤/粒剤

作業に合わせて
2つの剤型から
お選びください。



5リットル
新登場!

商品名	規格	予約価格(税込)
ラクサー粒剤	3kg	2,780円
ラクサー粒剤	12kg	11,000円

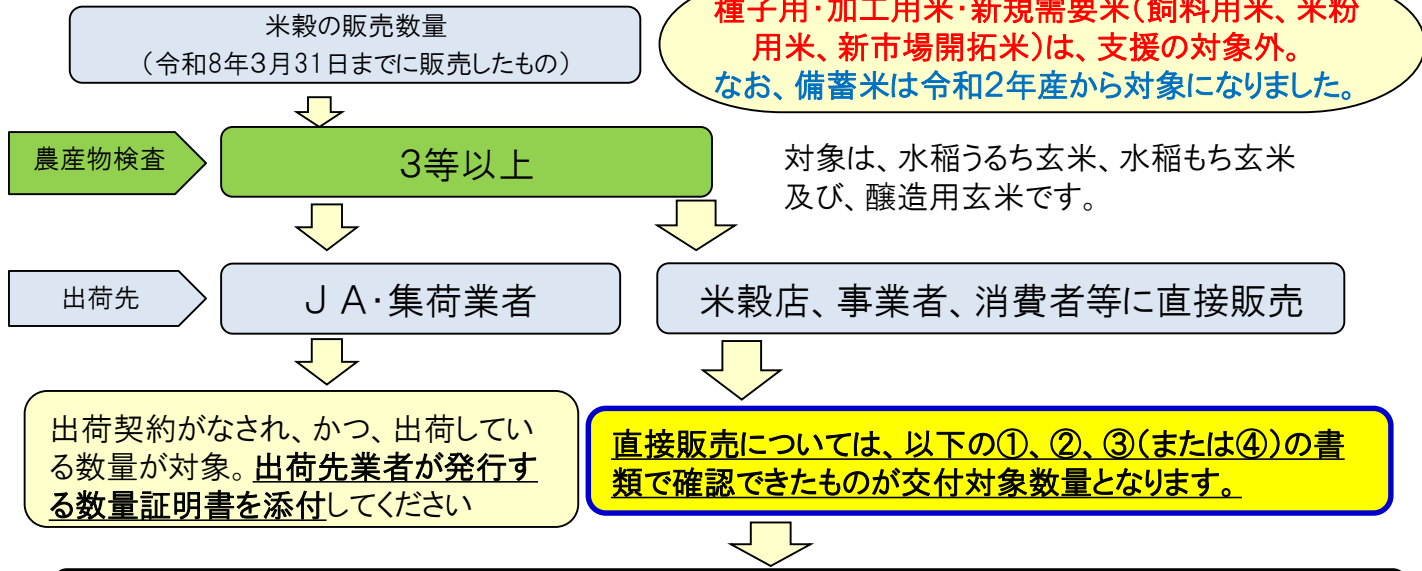
令和8年産大豆用資材申込書 申込期限:令和8年4月24日(金)

令和8年産「収入減少影響緩和対策」交付申請

標記の交付申請書が近畿農政局から3月23日付に農家へ発送されていますので生産実績数量を記入し、JA北びわこ営農経済センター(湖北地域)または浅井支店(浅井・虎姫地域)・びわ支店・高月支店・木之本支店の各営農経済係または長浜市産業観光部農業振興課へ提出をお願いします。また、直接販売分については下記の必要書類の添付が必要になります。

提出期限 令和8年4月16日(木)までに各支店営農経済係またはTAC担当必着。

○交付対象数量の範囲(フロー図)



米穀店、事業者、消費者等に直接販売された場合の確認書類

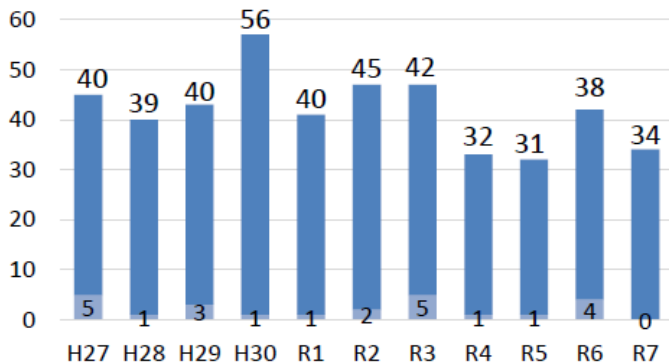
- ① 直接販売した米穀の数量報告書(玄米用)または(精米用)
 - ② 米穀検査結果通知書等の写し
検査米の場合は「検査結果通知書」の写し
未検査米の場合は、
・主食用 ・1.7mm以上の網目調製・水分16.0%以下
・産年・産地が明らかに確認できる販売伝票等の写し
 - ③ 米穀の直接販売分の証明書類の添付省略に関する申出書
※③の申出により、以下の④のア、イ、ウの証明書類の提出が省略できますが、提出を求める場合がありますので、5年間は大切に保存してください。
- ↓
- ④ 販売実績が確認できる書類
- ア 3月31日までに、業者等への販売で相手先と文書等で販売契約を締結した場合は、次の①と②**
- ① 販売契約書の写し 契約日、販売の相手先、銘柄ごとの販売対象数量、販売価格、
または販売価格の設定方法、引渡時期が記載されたもの
 - ② 販売伝票等の写し 納品書または販売伝票(領収書等)
- イ 3月31日までに、一般消費者等へ販売した場合は、次の③及び④**
- ③ 購入申込書の写し 販売日、販売の相手先、銘柄ごとの販売対象数量、販売価格が記載されたもの
 - ④ 販売伝票等の写し 納品書または販売伝票(領収書等)
- ※直売所等での販売について、販売の相手が不明な場合でも、直売所等の証明等で確認できれば生産実績数量に含めることができます。
- ウ 3月31日までに、販売の相手先からの注文(ネット、FAX等)に応じて販売した場合は、次の⑤と⑥**
- ⑤ 購入申込書または発注フォームを印字したもの等
販売日、販売の相手先、銘柄ごとの販売数量、販売価格が記載されたもの
 - ⑥ 販売伝票等の写し等 納品書または販売伝票(領収書、代金請求書+送り状など)

農作業安全について

遭わない！起こさない！農作業事故

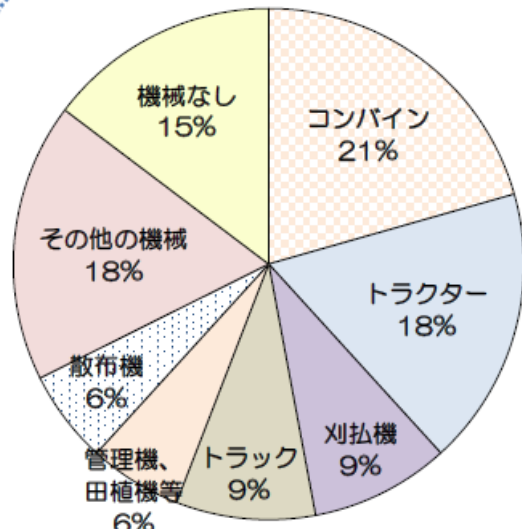
県内の農作業事故発生状況 (R7年)

- ◆ 毎年、死亡事故を含む約40件の事故が発生し、R7年は34件、うち重傷事故が13件でした。
- ◆ 機械別ではコンバインによる事故が7件と最多でした。
- ◆ 農作業別では、移動中の事故が7件と最多でした。
- ◆ 年代別では全体の8割以上が60歳以上でした。



■ 農作業事故 ■ うち死亡事故

<県内における農作業事故発生件数の推移>



<機械別事故発生割合 (R7)>

令和7年に発生した農作業事故の例

移動中 (7件)

- ・道の段差で上下動し振り落とされ、コンバインは林に突っ込み大破。
- ・コンバインで移動中、田んぼへの進入路を見誤り、バック時に路肩から転落。
- ・トラクターのブレーキペダルを踏み間違え、倉庫の壁に追突

点検・整備 (6件)

- ・コンバインの刈取部のゴミ除去時に腕が巻き込まれ、けんを切断。
- ・コンバインの糞排出部の折りたたみ作業時に指を挟まれ骨折。
- ・ビニールハウスの補修中に足を滑らせ転落し、腰を骨折。



草刈り (5件)

- ・堤体から転落し、足を骨折。
- ・小石が側を通過した乗用車の後部窓ガラスにあたり割れた。
- ・草に足を取られて転倒し、鎖骨を骨折。



事故ゼロに向けて



トラクター

- ◆ ヘルメットとシートベルトを着用する。
- ◆ 狭い道は迂回し、カーブ区間は徐行する。
- ◆ 危険箇所を把握し、目印や草刈り等により対策を実施する。



刈払機

- ◆ フェイスガードや安全靴等を着用し、防護を徹底する。
- ◆ 草むらに潜む切り株や石、空き缶に注意する。
- ◆ 詰まり除去時はエンジンを停止する。



コンバイン

- ◆ 死角が多いため、こまめに後方確認と声掛けを行う。
- ◆ 手こぎ作業は手袋や軍手、巻き込まれやすいタオルなどは外した適切な服装で行う。